



「たくましさ」を身につけた2学期

まだまだ残暑厳しい2学期始めから、すっかり太陽が恋しい季節となりました。晩夏、短い秋、そして初冬と3つの季節を過ごした2学期、金池小の子どもたちは、全員とてもよく頑張りました。

始業式で「たくましさ」のブラッシュアップを呼び掛けスタートした2学期。運動会の取組、学年ごとの見学遠足や学年行事（お米の収穫、芋ほり、七輪体験等）、5、6年生の委員会活動による各集会等、実り多き学期でした。運動会で頑張った子どもたちが、毎日の授業でも集中して臨み、意欲的に発表する様子を見ていると頼もしく感じます。先日、児童を対象に実施したアンケートでも、「自分の考えをもち、友だちと考えを交流できた」と回答する児童は、学年が上がるにつれて増え6年生は96%でした。得てして、学年が上がるにつれて、自分の思いや考えを発信することに抵抗が出てくる傾向にありますが、金池小の子どもたちは発信することでさらに自分の考えを高めようとしています。金池小のよき伝統として継続していきたいものです。

我慢する力や立ち直る力などを身につけ、他と折り合いをつけながら関わろうとする子どもたちの姿から、たくましさを感じます。3学期は、新学年0学期としての位置づけで、「あたらしさ」を磨いていきます。

さて、25日から14日間の冬休みです。楽しい行事もたくさんでしょうが、1番は命を守ることです。1月8日の3学期始業式、元気な顔で会いましょう。保護者、地域の皆様、2学期も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

【金池小学校138年の歴史～校歌編～】

昭和43年まで校歌がなかった金池小。ある式典で当時の校長が、詩人でもあった安東玉彦大分市長に作詞を依頼します。

歌詞に地域の山や川など入れずに、子どもをたたえ、その将来を期待し、力強く生きる喜びを伝えてほしいと依頼したそうです。

それでは作曲は誰に依頼したのでしょうか…。なんと当時NHKで歌っていた「安西愛子」先生に依頼したところ、快く引き受けてくださり、昭和43年3月、文化会館で行われた「金池小学校創立80周年記念式典」の中で、安西先生の直接指導により、披露され、校歌が誕生しました。

こうして誕生した金池小校歌です。校歌を通して、これまでの先輩たちの思いを引き継ぐとともに、自らの未来に向けて高らかに歌い上げてほしいと思います。

ちなみに、作詞が「安東先生」、作曲が「安西先生」、東西に広く響き渡る校歌です。

【2学期学校評価結果から】

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。児童、教職員の回答集約、分析ができましたら、学校HPに掲載しますのでご参照ください。

さて、アンケート項目の一つに「ゲームやインターネットなどのルールを決めて使わせている」という項目がありますが、肯定的評価結果は、1学期84%、2学期が85%でした。

世界に目を向けると、オーストラリアでは、16歳未満の子どもたちにはSNSの使用を禁止する法律が作られ、12月10日に施行されました。この法律が子どもたちを守るものになるのか、自由を奪うものか議論が続いています。日本では、法律の施行とまではいなくても、〇時以降は使用しないよう推奨する自治体も出てきています。

皆さんはどのように考えるでしょうか。この冬休み、ゲームの時間、使用上のルール等、お子さんと話し合い、実践してみてもはどうでしょうか。

